（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	大垣市立ひまわり学園		
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日	～	令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）258	（回答者数）	210
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日	～	令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）19	（回答者数）	19
○事業者向け自己評価表作成日	6年　11月　1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	新園舎となり、子どもの活動スペースが十分確保されているためのびのびと活動を行うことがでいる。	活動内容や人数によってホールやプレイルーム、集団指導室、個別指導室などを使い分けている。集中して取り組む活動は教室で行い、運動遊びはホールやプレイルームに移動してのびのびと活動できるように工夫している。	いろいろな活動場所が用意できるため、活動内容をいろいろと考えて増やしていく。今後、新しい行事等も考えて実施していきます。
2	子どもと保護者のニーズや課題が児童発達支援計画に反映されたものになっているとの回答を多くいただいた。	それぞれの発達段階や特性を理解するとともに、子どもや保護者のニーズを丁寧に聞きとりながら計画を作成しています。	研修や実践を積み重ねることで職員の専門性を高め、さまざまな視点で子どもの発達を捉えた児童発達支援計画が作成できるよう取り組んでいきます。
3	子どもや保護者の気持ちに寄り添い、共感をしてもらえる支援となっているとの回答を多くいただいた。	「親子通園」「親子療育」のアプローチにより、保護者に療育の様子を見学していただいたり、療育に保護者も参加していただいたり、保護者が相談しやすい体制や環境づくりをしています。保護者が参加・見学できることで、安心して利用できるよう支援をしています。	今後も子どもと保護者に信頼される事業所であり続けるために、保護者と連携を密にとり、気持ちに寄り添った言葉がけや、療育に楽しく通ってもらえるよう療育内容の工夫などの取り組みをしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援計画について具体的な支援内容になっているが、ガイドラインに沿った支援計画であることについて、十分な説明が不足していると思われる。	児童発達支援ガイドラインにある「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援 」について、療育の始まりと終わりに説明する時間的余裕がないことが主な要因となっている。	書面にてガイドラインを説明し、支援計画を保護者が理解できたことを確認できるようしていく。また、支援計画を渡す時には時間を作り、１つずつ丁寧に説明をしていきます。
2	各マニュアルにおいては策定されているが、保護者への説明、周知の方法においては改善が必要に思われる。また、訓練についても、全利用者が参加できていない問題点がある。	マニュアルの周知・説明については書類等でページ数も多く時間が限られている中で行き届いてないところがある。また、訓練についても、毎月1回はあるが、日時、時間により参加できない利用者がいる。	マニュアルについては、わかりやすい場所に掲示・設置をし、周知をしていく。また、訓練についてもできるだけ多くの利用者が参加できるよう考え、契約時に避難経路等を渡すなど災害時に対応していただけるようにしていきます。
3	父母の会の活動や、父母の会主催の保護者会開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられている。きょうだい向けのイベントは現在親子参観日などで参加はあるが、きょうだいへの支援については機会が少ないと思われる。	きょうだいの年令や差によって交流内容が難しいため、イベントの開催等ができず支援が難しくなっている。	家族支援の中できょうだいへの支援は行われているが、きょうだい同士の交流の機会やイベントについては今後考えていきます。

（別紙４）

公表	保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	大垣市立ひまわり学園

公表日　　令和６年　１１月　　１日

利用児童数 258　　回収数 210

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	207	3	0	0	・新校舎で明るい雰囲気も加わったと思います。 ・のびのび体を動かせている。 ・新校舎でキレイで広くなり、活動しやすい。 ・スペースは十分だと思います。 ・広々としたスペースが確保されている。	・新園舎となり、活動内容によって活動場所を確保し、十分な広さで活動をしていただいています。 ・今後も整理整頓を心掛け安全な療育を継続できるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	200	5	2	3	・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士さんなど専門の先生の配置希望。 ・1人1人ついてくれて助かるけど、先生が大変じゃないか。 ・療育が開始してすぐの頃(4月)は子供の特性がわからないから職員を増やした方が良い。 ・一生懸命指導してくださっていると思いますが、たまに遊びに参加できないとそのまま時間が過ぎていく時があるので、そういう時は声かけをしてくださるとうれしいです。 ・目が行き届く人数の先生がいてありがたいです。 　1人の子どもにつき1人の職員の方についていただき十分みてもらっている。 ・きちんと目が行き届いていると思います。 ・こどもの見守りができる配置数である。	・人員配置については基準以上で整えています。１人１人にあった療育を心がけ、職員の専門知識も高め今後も療育に努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	201	6	0	3	・今まで通ったなかではありませんでした。 ・部屋も廊下も全部同化していて教室がわかりずらいですね。 ・果物の絵等で分かりやすい。 ・廊下を歩けば全部の部屋に行けるのでわかりやすいと思います。 ・机など使わない物は端に寄せてあった。 ・入り口近くの部屋だとうれしい。	・注意喚起や活動場所がわかるように絵等を使用し、わかりやすい位置に掲示して設備等使いやすいように努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	207	3	0	0	・廊下が暑い。 ・（部屋の表示が）果物の絵等でわかりやすい。 ・手洗い場、ホール等もとてもきれいで使いやすい ・木で造られた園舎は居心地が良く、床の感触も心地良いです。 ・清潔な部屋である。 ・フローリングで子どもが頭をぶつけると痛そう。低年齢の部屋の配慮があると嬉しい。曲がり角でぶつからないように何か子どもがわかる目印あるといい。 ・トイレスリッパが脱ぎにくく、手で脱ぐ衛生面が心配。 ・いつもきれいに清掃していただき気持ちよく使える。 ・子どもが動きやすい施設のつくりとなっており、使いやすい。	毎日清掃、整理整頓を行い清潔が保たれるよう努めていきます。廊下等については、天窓のパーテンション等を使用し、適切な空調使用を行います。 　危険個所がないよう安全チェックを行っていきます。

適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	186	16	1	6	・体調不良や感染症流行以外の時はマスクをなくす場面があってもよいのではないかと思う時があります。「顔の表情や相手の認識をすることにつながっていくのでは」と思います。先生の顔が見えると子ども達もうれしいと思います。 ・視かく的情報が多く分かりやすいと思う。 ・発達を促すプログラムだと思うが少人数とはいえ集団なので毎回子供にあっているプログラムではないなと思うことがある。 ・集団での療育になると個々の特性にあわせきれないことがあるように思う。 ・時々で変化する特性に柔軟に対応していただいています。 ・それぞれの子どもの特性に合った支援をしていただいている。 ・正解が分からないのでなんとも言えない。 ・いつも担当の先生はそう感じるか、休みの時に別の先生だとそうは思わない ・よく子どものことを見てくれていると感じます。 ・身体を使った遊びを取り入れている。 ・写真で今日何があるのかが分かるが、写真を裏返すのが先生だけだったり子どもにやらせてくれる先生が居て子どもが混乱している時ある。 ・いろいろな面から子どもの支援をしていただき、楽しく成長できているように感じる。日常生活でも継続できる内容で、取り入れてつづけられる。	集団、少人数と子どもの特性にあわせ、発達や状況を捉えて支援をしていきます。さらに職員の専門性の向上に努めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	179	11	0	19	・どういう内容なのかわからないのですぐに見れるようになるといい。 ・公表しているものに沿った支援をしていただいている。 ・合っている内容もあればまだ特に触れてない内容もある。 ・支援プログラムとは？どこで公表しているか分からない。 ・支援プログラムがよくわからない。	今後、事業所の支援プログラムの公表をわかりやすく行い、周知をしっかりとしていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	194	12	0	3	・特性をよくみていただき発達支援をしていただいている。 ・自分では上手く言葉にできないニーズをよく拾って計画に反映させてくださっています。 ・子どもに合わせて作成されていると感じます。 ・子どものことをよく理解して、作成されている。	今後もそれぞれの特性を理解し、子どもや保護者のニーズを聞き、計画を作成していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	184	12	1	12	・具体的な支援内容が設定されている。 ・ガイドラインを理解していないのでわからない。 ・家族支援、移行支援の内容がいつも同じ ・児童発達支援ガイドラインがよくわからないが、具体的な支援内容は明記されている。	ガイドラインの説明を行いながら、今後も子どもの支援に必要な具体的な支援内容を設定していきます。家族支援、移行支援についての内容を具体的な内容にしていけるようにしていきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	194	12	0	3	・計画に沿った支援が行われている。 ・身の回りのことは特に支援内容(活動）に盛込まれていない。（靴下の脱ぎ履きなど）流れでやっているだけでできるようにするという感じではない。 ・支援計画に沿った内容で行われている。	それぞれの特性や発達、状況など捉えまた保護者のニーズ等も捉えながら、確認を行い支援していきます。

	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	191	9	0	8	・成長の階段にあわせてプログラムが組まれているように感じます。 ・その場その場での子どもの様子に合わせた支援を受けている。 ・おやつの時間を通して、子の口の周りの筋肉の発達を促してくださっているのがよく伝わります。 ・いつも担当の先生は工夫されていると思うが、別の先生の時に同じ事のくり返しすぎてつまらないと思った。 ・いろいろな活動があり、工夫されていると思います。 ・いろいろな遊びを経験している。 ・先生が資材を自力で持ってきてくださったり（牛乳パックなど）工夫しながら様々な遊びを取り入れてくれているのだなといました。家庭にあるものなどで協力できたらしたいと思います。	１人１人の発達にあったプログラムを考えて提供していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	127	14	24	43	・保育園以外ではあまりない。 ・普段の療育の活動においてはあまりないと思います。 ・先生方が保育園等と連携して、子どもに寄り添っていただいている。 ・一度も他の子と活動したことはない。 ・１度もないと思う ・なかなか難しいと思います。 ・交流したことがない。	東高等学校の生徒との交流では、園に生徒が訪問し交流したり、高校に園児が出向いて生徒が考えた企画に参加して交流をしています。また「移動動物園」では近隣の小学校、保育園の生徒や児童に資源を提供しています。 今後も交流の機会が増えるようにしていきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	203	3	0	2	・説明があった。 ・少し説明がある時と紙をもらうだけの時とある。 ・利用するようになった時に説明がありました。 ・分かりやすく説明された。	書面の配布や掲示をおこなっています。説明時はご不明な点などお気軽に質問等お聞きください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	198	4	0	6	・説明があった。 ・少し説明がある時と紙をもらうだけの時とある。 ・利用するようになった時に説明がありました。 ・分かりやすく説明された。 ・示しながら説明はあった。	面談時やモニタリング時に説明をしています。説明時はご不明な点などお気軽に質問等お聞きください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	175	13	2	19	・案内をいただいている。 ・知らないだけかもしれません。 ・就学に向けての中野先生の講演会がとてもよかったです。 ・講演会など行われている。	保護者向け講演会や就園就学に向けた学習会を実施しています。個別でご質問がある場合はその都度お声かけください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	192	16	0	2	・数カ月に1回のモニタリングのみでなかなか先生と相談する機会がない。 ・感じたことをその場で共有できている。 ・困りごとはないか、よく気にかけてくださっています。 ・家の様子は限られた時間では伝えられない。 ・毎回活動後に報告があります。 ・定期的なヒアリング、モニタリングをして伝えあっている。 ・療育後の先生の説明はいつもねらいなどが聞けて分かりやすくて良いです。ありがとうございます。	療育内容の説明や目標の説明をし、保護者の思いを汲み取れるようにモニタリングやご相談に応じています。 気になることがありましたら、いつでもご連絡ください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	196	10	2	1	・まだ利用開始したばかりで不明。 ・数カ月に1回のモニタリングのみでなかなか先生と相談する機会がない。 ・面談や助言いただいている。 ・ラインで気軽に相談できるとよい	適切な助言等ができるよう、職員のスキルの向上に努めていきます。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	204	5	0	1	・寄り添った支援を受けることができている。 ・私自身、育児に自信がなく、不安に思うことが多いのですが、先生方は子との関わりの中で良い部分を見つけてほめてくださいます。それが自信につながっていると感じています。 ・どの職員も共感してもらっている。	子どもや保護者から相談しやすい環境づくりをしています。またみなさんが安心して利用できるよう支援をしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	100	30	17	62	・同クラス間での保護者同士の交流はあるがその他はない。 ・親子参観やきょうだい同士の交流の場をもう少し増やしてもらえると良い。本人同士はもちろんですが、きょうだい児同士も同じ立場で分かり合えること、成長するにつれていろんな想いもあると思うので、交流する場があると良いなと思います。 ・兄弟、他の保護者の方との交流を持つ事ができるよう支援を受けている。 ・きょうだい向けイベント等参加したことがない。 ・知らないだけかもしれませんが、なかな交流するのも難しいと思います。 ・父母の会の活動など行われている。 ・保護者同士の交流が殆どない。 ・昨年から利用したが、療育が終わると皆さんすぐに帰られて、他の親さんがどのように子育てされているのか交流したい。 ・園に通っている人といない人で違うところかなと思うので分からない。	親の会の役員会の報告や活動については掲示板やＬＩＮＥ等にて周知しています。きょうだい向けのイベント等につきましては、親子参観日での参加になりますが、今後交流機会が設けられるように努めていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	158	8	0	19	・面談等の際、相談等にも対応いただいている。 ・適切に対応されている。 ・先日悩んだ際、相談すると時間をすぐに作って頂いた。 ・いつも親身に相談にのっていただき、大変助かっている。	迅速にご相談に対応できるようにしています。いつでもお声をかけてください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	168	11	0	6	・しっかりとコミュニケーションがとれている。 ・配慮されていると思う。	ご相談がありましたらいつでもお声かけください。今後も丁寧に対応していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	143	13	3	26	・おたより等で案内いただいている。 ・通信やLINEで発信されています。 ・ホームページなどで発信されている。	ホームページや機関紙等で情報を発信しています。自己評価につきましても施設内掲示や、ホームページにて公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	179	2	0	4	・十分対応いただいている。 ・留意されていると思う。	取扱いについては十分に注意し管理しています。必要に応じて、その都度、保護者に同意をお願いしております。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	101	19	8	56	・まだ訓練ないのでわからないです。 ・以前のひまわり学園の時に避難訓練をした事はあるが、訓練の時にあたっていないかもしれない。 ・移転してからはまだ一度も避難訓練等はしていないので、行ってほしいです。 ・マニュアルが策定されているのかの確認の仕方がわからない。 ・入所まもなく、まだ受けていない ・説明があって私が忘れているのであればすみません。 ・マニュアルの説明はないと思う。訓練は年1回あった。 ・避難訓練を実施している。 ・先日避難訓練があったが、避難経路の案内がなかった。 ・定期的に訓練をしてくれている。 ・マニュアルについては知らない。	マニュアルについては、わかりやすく周知をしていきます。また、避難訓練についても多くの方に参加していただけるように日時を考えて実施していきます。

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	92	21	5	65	・知らない。 ・まだ訓練はないのでわからないです。 ・以前のひまわり学園の時に避難訓練をした事はあるが、訓練の時にあたっていないかもしれない。 ・移転してからはまだ一度も避難訓練等はしていないので、行ってほしいです。 ・時によってやっているとは思うのですが、午後に実施は見ない為。 ・新しい建物になってからまだ避難訓練がないのでしていただけると安心です。 ・年1回あったと思うが新園舎ではまだないと思う。	年間の計画の中で月1回の避難訓練や災害訓練を行っています。また職員においても定期的な訓練をおこない全職員が対応できるようにしています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	139	10	1	33	・危険な場所等なく安心して支援を受けている。 ・計画について周知はされていないと思うが安全確保はされていると思う。 ・親しみをもって通所している。 ・安全の確保は行われている。	毎月安全チェックをおこない職員で周知している。今後も安全・安心して利用していただけるよう努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	126	12	1	45	・そういうことにあったことがない。 ・事故等なく利用できている。 ・以前速やかな報告をうけました。 ・事故が発生していないためわからない。	事故等発生時は速やかな連絡をおこない対応をしてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	179	2	0	4	・危険な場所等なく安心して支援を受けている。 ・いつも楽しく通所しています。	安心して利用できるように毎月安全チェックをおこなっています。今後も利用を楽しみに通っていただけるように努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	168	12	0	5	・たまに行きたくないという時があるが来ると楽しそうです。 ・日による（本人の問題）基本的に嫌なイメージはない。 ・とっても楽しみにしています。 ・活動内容により抵抗を示す時はありながらも、先生のサポートを受けて色々と挑戦もできています。自分の行き先の１つとして認識し、通所できています。 ・通所はとても楽しいようで楽しそうな大きい声や、笑い声を沢山あげています。 ・前日に何度も「明日はひまわり？」と聞いたり「今日は何するのかな？」と楽しみにしています。 ・こわがる時がある。 ・「ひまわりさん行くよ」と言うと嬉しそうにでかけようとしています。 ・子ども同士のつながりがうれしい様で、毎週楽しみにしている。 ・毎週、「今日ひまわり？」と聞きます。	今後も皆様が楽しくひまわり学園に通っていただける場所になるように努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	175	8	0	2	・大満足です。ひまわり学園に通って困り事が大きく減ったので通えて本当に良かったと思います。 ・いつもていねいに向き合って下さり感謝しております。 ・活動内容、環境、先生方の温かい支援の全てに満足しています。 ・楽しんで支援を受けている。 ・とても満足、ありがたく思っています。子だけでなく、親にとっても通所が楽しみになっています。 ・見守り室から見てると目の前に物を置かれ子どもが全く見えない時がある。 ・その日担当の先生によりバラつきがある。 ・子どもが楽しんでいるので満足です。 ・成長を感じられるし、普段の生活で取り入れられる遊びや接し方も勉強になります。	１人１人にあった丁寧な支援を心掛けてとりくんでいます。今後も皆様からのご意見や要望をいただきながら工夫し満足していただける支援ができるよう努めていきます。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	大垣市立ひまわり学園

公表日　令和6年　11月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	19	0	人数によって大部屋と小部屋を使い分けている。また、広くスペースを使えるように物を置かない工夫をしている。	適切に行われている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	19	0	グループによっては職員が多いと感じる時もあるので、臨機応変に配置を考えるようにしている。 職員のお休みに応じてフォローに入ってもらっている。 グループの先生たちと療育後等に話し合う場を設け個々の子やグループの実態に合わせ職員の配置数が適切かどうか児発管にも相談して検討している。	常にこどもの状態等にあわせて適切な職員配置を考えて対応していく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	19	0	バリアフリーに配慮されている。 自動扉や跳びだし防止のため注意喚起を絵などを掲示し行うなどしている。 子どもが療育に集中できるように、物の配置を行っている。	環境整備においては、こどもの動きや保護者の意見を聞き環境を整えていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	19	0	毎日の清掃、消毒を行っている。 整理整頓を行い安全な空間をつくっている。	感染予防対策などを実施し、活動にあわせて部屋の設定を変えるなどしていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	18	1	状況に応じて個別の部屋や場所を使用することが出来るよう整えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	17	1	支援については支援会議を定期的に行って振り返りと次の目標を確認している。業務改善については職員会議で議題に上げている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19	0	年2回アンケートを実施 その他行事、研修会後などにアンケートをとっている。	職員全員で把握し、今後の業務に活かしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	2	支援会議、委員会、行事等の反省会を行っている。 職員へのアンケート、働き方アンケートを行っている。	業務改善につなげていけるように常に話合いの機会を設けている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	3	外部評価はうけている。 改善点については早急に改善できるよう努めている。	業務改善結果を公表できるように努めていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	19	0	園内での研修や外部講師を招いての研修、自主研修など受講する機会も内容も豊富でスキルアップできるよう努めている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	18	1	子どもの発達の捉えと保護者のニーズをアセスメントして支援計画に反映している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	19	0	定期的に個別懇談（モニタリング）を行っている。子どもと保護者の意向をもとに作成している。	個別支援計画やモニタリング報告書が期限内に実施、保護者に手渡せるようにする。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	19	0	個別支援会議を行うことで、1人1人の支援について共通理解を図るようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	19	0	会議等職員間で共有している。 担当職員から他の職員に支援内容の説明と、児童発達支援管理責任者から助言がある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	2	最初の申請と更新時に、受給者証更新時に年齢別判断基準調査表を用いて確認している。	担当者が保護者からの聞き取りや子どもの状態を経過を追ってアセスメントし、加筆していけるようにする。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	19	0	ガイドラインに示されている内容を理解し、支援内容に踏まえて計画に盛り込み設定している。	児童発達支援のガイドラインや5領域の内容について職員全員が周知できるようにしていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	18	1	リーダーがクラス内で事前に確認をしている。	リーダーが1人で決めていることが多いので、グループで意見を出し合い活動プログラムを立案していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	19	0	研修や実践発表、施設見学、ビデオカンファレンスで自分の療育を客観的に見たり助言をもらう機会を作るなど、療育内容がマンネリ化しないように新しい視点で考えるようにしている。	今後も、研修等を通して新しい視点や方法を取り入れ、工夫していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	19	0	子どもの特性にあわせて発達や状況を捉えて、子どもや保護者に説明、同意を得て計画を作成し、支援している。	子どもの発達の状態に応じて、個別療育と集団療育を柔軟に取り入れていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18	1	事前の打ち合わせを行い、支援の流れをリーダ中心に役割分担を確認している。	子ども一人ひとりの目標や、その日の療育のねらいを職員全員が理解して取り組めるようにしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	18	1	職員間で支援の振り返りを行い、意見等を話し、次回支援に活かしている。	療育がたてつづきにあるときはすぐにできない時もあるが、時間を見つけて話し合いの場を設け、共有するよう努めている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	19	0	記録を必ずとり、職員間で相談しながら支援の検証、改善を行っている。	グループとしての目標、個人の目標、子どもの姿、達成度、次の課題まで考えながら記録が書けるようにしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	19	0	モニタリングを通して達成度や課題を整理し、保護者と共有できるようにしている。	モニタリングで聞き取った課題を療育に取り入れていけるようにする。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18	1	日程調整を行い担当職員が参画している。	同じ事業所の相談支援事業所とは連携が取れているが、その他の相談支援事業所との情報交流がもっとできると良い。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	19	0	保育所等と連携は、保育園訪問、保育士の見学受入や研修会への参加、巡回指導など積極的に行っている。医療機関との連携は、市民病院小児科医師による年2回の健康診断と希望者に発達相談を行なっている。保健センターは、1歳半、3歳児健診の発達相談やフォローアップ教室を市の委託で行なっている。担当職員が他の児童発達支援事業所や病院のリハビリの見学に行き、情報共有を行なっている。	今後も引き続き他機関との連携体制をとっていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19	0	保育所等訪問支援を行っている。 保護者の同意のもと支援内容等の情報共有や相互理解のため連絡をとりあっている。	保育士や保護者に、訪問支援の内容や取り組みや有効性について広く理解していただけるようにする。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17	2	スマイルブックの引継ぎを行っている。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	6	5	ひまわり学園が中核的な役割を担う事業所として、地域の児童発達支援事業所と交流（講演会の開催）や連絡を取り合っている。	今後は放課後等デイサービスとも連携も図り、研修会の開催など連携をしていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	13	4	地域貢献事業（移動動物園、講演会）の実施。	新しい地域の幼保園や小学校等と交流の機会をつくり、信頼関係を築いていく。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	18	0	子どもの特性や発達を捉えて、子どもや保護者とコミュニケーションをとっている。	療育後に次のお子さんが廊下で待っている状態なので保護者とゆっくり話す時間がとりにくいが、子どもの発達や課題について日常的に少しでも話せるように心がけ、必要な時は別日に懇談の時間を設けるようにする。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	17	0	子育て公開講座を行っている。	「講演会」「交流会」「座談会」「情報提供」など、親のニーズに合った内容の活動を検討する。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18	0	契約時や料金改定の時に、書面を見ながら丁寧に説明をしている。	継続。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	19	0	入口相談で詳しいアセスメントと相談を行い、利用する時に、担当職員や児童発達支援管理責任者に引継ぎをしている。また、契約時にもアセスメントを行ない、子どもの特性は発達に沿った支援目標や、保護者のニーズを反映した計画作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	19	0	面接時やモニタリング時に説明を行い同意を得ている。	支援内容を具体的に、保護者が分かるような丁寧な説明が職員全員が行なえるようにしていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	1	療育後の時間や、保護者の方に声をかけ面談の時間をもち支援している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	6	役員会（親の会）があり、報告をおこなっている。また行事等については、掲示板やＬＩＮＥ等を使い周知できるよう支援している。	きょうだい同士の交流する機会については今後支援できるように努めていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	19	0	迅速に対応できるよう情報等の共有を行っている。また、療育後保護者からの相談を受けられる時間を設けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	19	0	ひまわり広報誌年6回、行事等の内容をホームページ等にて情報発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	19	0	特に他機関との連携で使用する場合は保護者に承諾書をとるなど徹底している。ホームページの写真等も同意がないものは控え、個人が特定できないようにしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	0	療育内容の流れを写真で提示し、視覚情報と聴覚情報を同時に入力できるように配慮。運営規定や重要事項にルビをふるなど配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17	1	地域貢献事業（ひまわり開放日、移動動物園、講演会）の実施。	今後も対象者や内容について、地域住民に情報発信したり、参加していただけるよう様々な企画を考えていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	19	0	防犯訓練等については実施している。	マニュアルは職員に対しては周知や訓練は行なっているが、利用者にも周知してもらえる方法を検討していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18	0	ＢＣＰをもとに訓練をおこなっている。必要に応じて見直しを行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	17	1	最初の相談や契約時に確認している。わからい点についても保護者からの聴き取りをおこなっている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	2	対応し、職員間で共有している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	17	1	防犯研修、災害訓練をおこなっている。 毎月１回安全チェックを行っている。 事故が起きた時は対策委員会を設置して検証を行なっている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	16	2	災害時を想定した避難訓練等を行い連携が図れるようにしている。	安全計画の内容を保護者にもしっかり周知してもらえる方法を工夫していく。

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18	0	毎日確認をし、毎月集計し内容を職場会議で配布。委員会を通して事例検討研修を行う。	子どもの事故や怪我をした時の対処法について研修の機会を設ける。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18	0	虐待防止のため、チェックリストを作成、チェックし集計をしている。また会議等で集計結果を報告。必要に応じて研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	17	0	身体拘束が必要な児童については保護者の同意を得て計画書に記載したり、子どもの行動を止めるなどした場合は、保護者に理由を説明をし、記録に記載している。	